

各関係機関の長 殿

鹿児島県病虫害防除所長

令和8年度 技術情報第16号（サトイモの疫病）について（送付）

サトイモの疫病について、下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしくお願いいたします。

なお、本情報は、病虫害防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。



令和8年度 技術情報第16号

8月上旬の台風13号の影響による降雨により、サトイモでは疫病の発生が急激に増加しており、一部の地域では、発生程度の高いほ場が認められます。今後も、台風等の強い風雨により、発生の拡大が懸念されるため、ほ場内をよく見回り、予防に重点をおき被害防止に努めましょう。

- | | |
|--------------|------|
| 1 対象病虫害 | 疫病 |
| 2 対象作物 | サトイモ |
| 3 発生地域および発生量 | |
| （1）発生地域 | 県本土 |
| （2）発生量 | やや多 |

4 発生状況及び情報の根拠

- （1）8月下旬の巡回調査において、サトイモでの疫病の発生ほ場率は70%（平年61%）と平年並みであったが、一部の地域で発生程度の高いほ場（多～中）が認められた（表1、図1）。
- （2）向こう1か月の気温は高いと予報されている。

5 防除上注意すべき事項

- （1）疫病菌は雨と傷で感染が助長されるため、今後も台風等の強い風雨により、発生の拡大が懸念される。
- （2）サトイモ生育後半の疫病の発生は、収量への影響は少ないものの、塊茎の腐敗を助長するため、安全使用基準を遵守し、適正な防除に努める。
- （3）発生ほ場では、直ちに治療効果のある農薬を複数回散布する。また、未発生ほ場でも予防散布に努める（表2）。なお、防除体系の詳細（図2）については令和3年度普及情報（右二次元コード）を参照する。
- （4）農薬散布後に葉が長時間濡れていると、薬害が発生する恐れがあるので、農薬は速やかに乾く時間帯を選んで散布する。
- （5）収穫後のくずいも・親いも等の残さは、ほ場や周囲に残ると発芽して翌年の発生源となるので、ほ場外へ持ち出し適正に処分する。また、茎葉等の残さは早めにすき込む。



6 参考データ

表1 サトイモでの疫病の発生状況（調査日：令和8年8月13～19日）

調査地	調査 ほ場数 (筆)	発 生 ほ場率 (%)	発病度 ¹⁾ 別ほ場数 (筆)					平均発病株率 (%)	平 均 発病度
			甚	多	中	少	無		
南九州市知覧町	2	0	0	0	0	0	2	0.0	0.0
さつま町宮之城	4	75	0	0	1	2	1	3.0	2.6
鹿屋市串良町	4	100	0	2	0	2	0	42.5	13.3
県本土全体	10	70	0	2	1	4	3	18.2	6.4

注1) 発病度別程度基準；甚：発病度50%以上、多：同21-50%、中：同6-20%、少：同1-5%

ほ場で50株を発病程度別に係数し、発病度を次の式で計算した。

発病度：{(4×甚株数)+(3×多株数)+(2×中株数)+(少株数)}/(4×50)

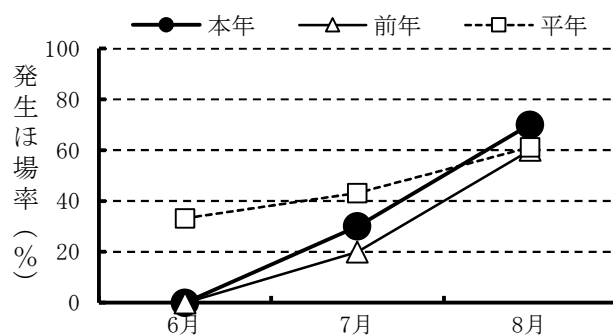


図1 サトイモでの疫病の発生ほ場率の推移
※平年値は過去8年間の平均

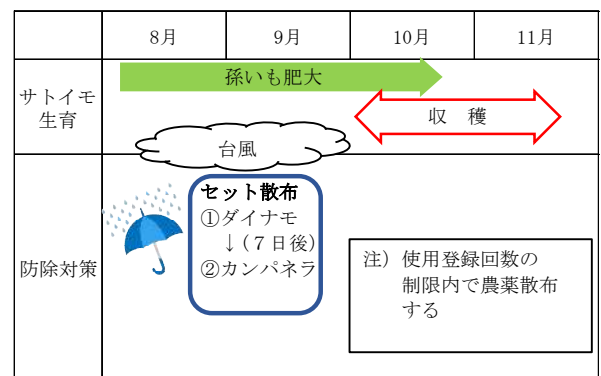


表2 サトイモでの疫病に対する登録農薬（令和8年8月26日現在）

農薬名	RAC コード	使用方法	希釈倍数	散布液量	使用回数	使用時期	効果
I C ボルドー 6 6 D	M01	散布	100倍	100-300L/10a	-	発病前～ 発病初期	予防
		無人航空機による散布	2倍	6L/10a			
			4倍	12L/10a			
			6倍	18L/10a			
フジドーLフロアブル	M01	散布	500倍	100-300L/10a	-	発病前～ 発病初期	予防
ジーファイン水和剤	NC、M01	散布	1,000倍	150-500L/10a	-	収穫前日 まで	予防
		無人航空機による散布	15倍	3.2L/10a			
ランマンフロアブル	21	散布	2,000倍	100-300L/10a	2回以内	収穫前日 まで	予防
		無人航空機による散布	16倍	1.6L/10a			
			32倍	3.2L/10a			
ビシロックフロアブル	U17	散布	1,000倍	100-300L/10a	3回以内	収穫前日 まで	予防
		無人航空機による散布	8倍	1.6L/10a			
			16倍	3.2L/10a			
ジマンダイセン水和剤 ¹⁾	M03	散布	500倍	100-300L/10a	2回以内	収穫7日 前まで	予防
		無人航空機による散布	5倍	1.6L/10a			
			10倍	3.2L/10a			
ベンコゼブ水和剤/マンゼート水和剤 ¹⁾		散布	500倍	100-300L/10a	2回以内	収穫7日 前まで	予防
カンパネラ水和剤/ベネセット水和剤 ¹⁾	40、M03	散布	1,000倍	100-300L/10a	3回以内	収穫7日 前まで	予防・治療
		無人航空機による散布	16倍	1.6～3.2L/10a			
オロンディスウルトラSC	49、40	散布	2,000倍	100-300L/10a	2回以内	収穫7日 前まで	予防・治療
アミスター20フロアブル	11	散布	2,000倍	100-300L/10a	3回以内	収穫14日 前まで	予防・治療
		無人航空機による散布	18倍	1.6L/10a			
ダイナモ顆粒水和剤	21、27	散布	2,000倍	100-300L/10a	3回以内	収穫21日 前まで	予防・治療
		無人航空機による散布	20倍	1.6L/10a			
			40倍	3.2L/10a			

注1) マンゼブを含む農薬のため、総使用回数（2回以内）に注意する。